

農 研 速 報

平成 26 年 12 月 25 日発行

みんなで進めよう
茨城農業改革

県農業総合センター農業研究所水田利用研究室

〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974

TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

水稻の生育状況(12 月 25 日現在, 龍ヶ崎市)

地域名	移植時期	対平年収量比(%)	作柄概況
茨城県 (龍ヶ崎市)	4 月 28 日	(あきたこまち) 111	<p>5 月～7 月まで平均気温は平年並～高く, 多日照で推移したため, 出穂期は平年に比べ「あきたこまち」が3日, 「コシヒカリ」が2日早まった。8 月は気温, 日照時間ともに第5半旬まで平年並み推移したが, 第6半旬以降は平年に比べ低温少日照となった。このため, 8 月第5半旬までに成熟期に達した「あきたこまち」は, 平年に比べ成熟期が2日早かった。一方, 「コシヒカリ」は登熟期間が平年より長くなり, 成熟期が平年並となった。</p> <p>【4月 28 日移植:あきたこまち】 成熟期の生育は, 平年と比較して稈長が並, 穂長が短く, 穂数が多かった。倒伏程度は平年並であった。収量構成要素をみると, 穂数が多く, 一穂粒数が少なかったため, m²当たり粒数は平年並であった。千粒重は並, 登熟歩合は極く高かった。登熟歩合が極く高まったことで, 玄米重は平年比 111%と極く多かった。玄米外観品質は, 平年より乳白粒の発生が少なく, 整粒歩合は平年より高かった。登熟歩合及び整粒歩合が向上した要因として, 登熟期の多照条件が考えられる。</p>
		(コシヒカリ) 105	<p>【4月 28 日移植:コシヒカリ】 成熟期の生育は, 平年と比較して稈長が短く, 穂長が並, 穂数が多かった。倒伏程度は平年並であった。収量構成要素をみると, 穂数が多く, 一穂粒数が少なかったため, m²当たり粒数は平年並であった。千粒重は並, 登熟歩合は高かった。登熟歩合が高まったことで, 玄米重は平年比 105%とやや多かった。玄米外観品質は, 平年より乳白粒の発生が少なく, 整粒歩合は平年よりやや高かった。登熟歩合及び整粒歩合が向上した要因として, 登熟期前半の多照条件が考えられる。</p>
		(ふくまる) —	<p>※参考 【4月 28 日移植:ふくまる】 出穂期は, 前年より1日遅く, 成熟期は前年並であった。成熟期の生育は, 前年と比較して稈長がやや長く, 穂長がやや短く, 穂数が多かった。倒伏程度はやや小さかった。倒伏程度がやや小さかった要因として, 5 月 7 日移植「あきたこまち」と同様に, 登熟後期(8 月中下旬)が少雨であったことが考えられる。 収量構成要素をみると, 前年と比較して, 穂数が多く, 一穂粒数が少なかったため, m²当たり粒数は前年並であった。千粒重はやや軽く, 登熟歩合は高かった。千粒重はやや軽かったが, 登熟歩合が高まったことで, 玄米重は前年比 103%とやや多かった。玄米外観品質は, 概ね前年並で, 整粒歩合は前年並であった。</p>

地域名	移植時期	対平年収量比(%)	作柄概況
茨城県 (龍ヶ崎市)	5月7日	<p>(あきたこまち) 106</p> <p>(コシヒカリ) 105</p>	<p>5月～7月まで平均気温は平年並～高く、多日照で推移したため、出穂期は平年に比べ「あきたこまち」が2日、「コシヒカリ」が1日早まった。8月は気温、日照時間ともに第5半旬まで平年並み推移したが、第6半旬以降は平年に比べ低温少日照となった。このため、8月第5半旬までに成熟期に達した「あきたこまち」は平年に比べ成熟期が1日早かった。一方、「コシヒカリ」は登熟期間が平年より3日長くなり、成熟期が2日遅かった。</p> <p>【5月7日移植:あきたこまち】 成熟期の生育は、平年と比較して稈長・穂長が並、穂数がやや多かった。倒伏程度はやや小さかった。倒伏程度がやや小さかった要因として、登熟後期(8月中下旬)が少雨であったことが考えられる。 収量構成要素をみると、穂数がやや多く、一穂粒数が平年並であったため、㎡当たり粒数はやや多かった。千粒重は並、登熟歩合は高かった。㎡当たり粒数がやや多く、登熟歩合が高まったことで、玄米重は平年比 106%と多かった。玄米外観品質は、平年より乳白粒の発生が少なく、整粒歩合は平年より高かった。登熟歩合及び整粒歩合が向上した要因として、登熟期の多照条件が考えられる。</p> <p>【5月7日移植:コシヒカリ】 成熟期の生育は、平年と比較して稈長・穂長がやや短く、穂数がやや多かった。倒伏程度は平年並であった。収量構成要素をみると、穂数がやや多く、一穂粒数が平年並であったため、㎡当たり粒数はやや多かった。千粒重及び登熟歩合は平年並であった。㎡当たり粒数がやや多かったため、玄米重は平年比 105%とやや多かった。玄米外観品質は、平年より乳白粒等の発生がやや少なく、整粒歩合は平年よりやや高かった。</p>

水 稲 の 生 育 状 況

表1 移植期・品種別生育・収量(龍ヶ崎市)

移植 時期 (月日)	品 種	出穂期			成熟期			稈 長			穂 長			穂 数			倒伏程度		
		本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (0～5)	前年差	平年差
4.28	あきたこまち	7/13	+1	-3	8/20	+2	-2	82	104	100	17.1	98	94	542	111	107	1.7	+0.2	+0.1
			(7/12)	(7/16)		(8/18)	(8/22)		(79)	(82)		(17.4)	(18.1)		(490)	(507)		(1.5)	(1.6)
	コシヒカリ	7/24	+1	-2	8/31	+3	±0	85	96	93	18.0	93	99	517	110	108	2.5	-0.3	-0.2
			(7/23)	(7/26)		(8/28)	(8/31)		(89)	(91)		(19.3)	(18.2)		(472)	(477)		(2.8)	(2.7)
	ふくまる	7/17	+1	-	8/23	±0	-	85	104	-	18.0	95	-	568	109	-	1.6	-0.9	-
			(7/16)	(-)		(8/23)	(-)		(82)	(-)		(19.0)	(-)		(519)	(-)		(2.5)	(-)
5. 7	あきたこまち	7/18	+3	-2	8/24	+3	-1	82	100	98	17.6	97	98	522	105	103	0.9	-1.1	-0.7
			(7/15)	(7/20)		(8/21)	(8/25)		(82)	(84)		(18.2)	(18.0)		(498)	(509)		(2.0)	(1.6)
	コシヒカリ	7/28	-1	-1	9/6	+2	+2	88	98	96	18.0	96	97	481	109	103	2.8	±0	+0.1
			(7/29)	(7/29)		(9/4)	(9/4)		(90)	(92)		(18.8)	(18.6)		(442)	(465)		(2.8)	(2.7)

移植 時期 (月日)	品 種	玄米重			1穂粒数			㎡当たり粒数			千粒重			登熟歩合		
		本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (100粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)
4.28	あきたこまち	63.8	107	111	63	95	91	341	106	98	20.8	100	100	90	101	113
			(59.3)	(57.7)		(66)	(69)		(323)	(347)		(20.8)	(20.9)		(89)	(80)
	コシヒカリ	61.4	101	105	65	86	91	335	94	99	20.8	98	98	86	107	106
			(60.7)	(58.6)		(75)	(71)		(356)	(337)		(21.3)	(21.3)		(81)	(81)
	ふくまる	73.9	103	-	62	93	-	349	102	-	22.9	96	-	92	106	-
			(71.6)	(-)		(66)	(-)		(343)	(-)		(23.8)	(-)		(87)	(-)
5. 7	あきたこまち	62.8	101	106	64	97	100	334	101	103	21.3	96	99	89	105	106
			(62.2)	(59.0)		(66)	(64)		(330)	(325)		(22.1)	(21.6)		(85)	(84)
	コシヒカリ	60.1	97	105	70	89	101	337	97	104	21.6	101	101	82	99	99
			(62.0)	(57.2)		(79)	(70)		(348)	(323)		(21.4)	(21.3)		(83)	(83)

()内は前年または平年の実数値を示す

表2 移植期・品種別玄米品質（龍ヶ崎市）

移植期 (月日)	品 種	整 粒 (%)			青未熟粒 (%)			乳白粒 (%)			心白粒 (%)			基白粒 (%)			背白粒 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
4.28	あきたこまち	95.3	-0.9	+5.6	0.4	+0.1	-1.0	0.6	-0.2	-2.4	0.6	+0.3	-0.3	0.6	+0.2	+0.2	1.5	+1.2	±0
			(96.2)	(89.7)		(0.3)	(1.4)		(0.8)	(3.0)		(0.3)	(0.9)		(0.4)	(0.4)		(0.3)	(1.5)
	コシヒカリ	92.1	+2.3	+4.6	1.3	+0.7	-0.6	3.2	-1.9	-2.0	0.8	+0.2	-0.7	1.0	-1.0	±0	0.7	+0.6	-0.4
			(89.8)	(87.5)		(0.6)	(1.9)		(5.1)	(5.2)		(0.6)	(1.5)		(2.0)	(1.0)		(0.1)	(1.1)
	ふくまる	95.7	+1.4	-	1.4	-0.4	-	0.8	-0.3	-	0.6	+0.3	-	0.4	+0.1	-	0.2	+0.2	-
			(94.3)	(-)		(1.8)	(-)		(1.1)	(-)		(0.3)	(-)		(0.3)	(-)		(0.0)	(-)
5.7	あきたこまち	96.1	+2.4	+5.4	0.5	-0.3	-0.7	0.3	-2.1	-2.4	0.4	+0.1	-0.1	0.8	+0.1	+0.4	0.9	+0.5	-1.5
			(93.7)	(90.7)		(0.8)	(1.2)		(2.4)	(2.7)		(0.3)	(0.5)		(0.7)	(0.4)		(0.4)	(2.4)
	コシヒカリ	89.9	+10.8	+3.0	1.3	+0.8	-0.5	4.0	-4.9	-0.9	1.3	±0	-0.2	1.6	-5.9	-0.3	0.5	-0.3	-0.1
			(79.1)	(86.9)		(0.5)	(1.8)		(8.9)	(4.9)		(1.3)	(1.5)		(7.5)	(1.9)		(0.8)	(0.6)

移植期 (月日)	品 種	腹白粒 (%)			その他 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
4.28	あきたこまち	0.5	+0.3	-0.6	0.5	-1.1	-0.1
			(0.2)	(1.1)		(1.6)	(0.6)
	コシヒカリ	0.4	-0.1	±0	0.6	-0.7	+0.2
			(0.5)	(0.4)		(1.3)	(0.4)
	ふくまる	0.8	±0	-	0.2	-1.2	-
			(0.8)	(-)		(1.4)	(-)
5.7	あきたこまち	0.3	±0	±0	0.8	-0.7	+0.3
			(0.3)	(0.3)		(1.5)	(0.5)
	コシヒカリ	0.3	-0.4	-0.5	0.8	-0.4	+0.5
			(0.7)	(0.8)		(1.2)	(0.3)

注)目視による調査

【栽培概要】

1. 苗質：稚苗

2. 植え付け本数：5本/株

3. 栽植密度 あきたこまち・コシヒカリ 22.2株/㎡

ふくまる 18.5株/㎡

4. 基肥量 あきたこまち N : P₂O₅ : K₂O = 0.7 : 0.7 : 0.7 (kg/a)コシヒカリ N : P₂O₅ : K₂O = 0.6 : 0.6 : 0.6 (kg/a)ふくまる N : P₂O₅ : K₂O = 0.8 : 0.8 : 0.8 (kg/a)

5. 追肥時期及び追肥施用量

(4月28日移植) あきたこまち 6月27日 N : K₂O = 0.3 : 0.3 (kg/a)コシヒカリ 7月10日 N : K₂O = 0.3 : 0.3 (kg/a)ふくまる 6月30日 N : K₂O = 0.4 : 0.4 (kg/a)(5月7日移植) あきたこまち 6月30日 N : K₂O = 0.3 : 0.3 (kg/a)コシヒカリ 7月14日 N : K₂O = 0.3 : 0.3 (kg/a)

6. 倒伏程度：0（無）～5（甚）の6段階評価

【玄米外観品質】

その他は、他未熟粒・被害粒・着色粒・死米を合計したもの

【平年値】

平成21～25年の5年間の平均値

ふくまるは平成25年からの調査のため平年値なし

